

成績評価における客観的な指標について

○学年ごとに個人別・科目別の成績評価を点数化し、個人成績を算出。

○成績の評価

1. 講義および臨地実習の評価資格を得るための時間数は、当該科目の必要時間数の3分の2以上出席していることとし、出席時間については分単位で算出している。
2. 評価資格を得たものについては、科目担当者および協議の上で決定した評価方法（筆記試験、レポート、学習態度等、授業計画書に記載している）にて客観評価し獲得した点数で合否を決め、単位認定している。
3. 評価基準は、A（点数80点以上）B（点数70点以上80点未満）C（点数60点以上70点未満）D（60点未満）とし、C以上を合格としている。

○各学生の学科内順位や成績の分布は、上記で得た全科目の点数の平均点を指標として用いて把握している。

○やむを得ない事情（感染症、忌引きほか）により試験が受けられない、または臨地実習が受けられない場合は、追試験（追実習）を受け、単位認定の判定をしている。